

2025年4月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2024年11月29日

上場会社名 東和フードサービス株式会社
コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸野 誠人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 研二
半期報告書提出予定日 2024年12月13日 配当支払開始予定日 2025年1月7日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5843-7666

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第2四半期(中間期)の業績(2024年5月1日～2024年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期中間期	6,285	4.4	461	7.9	468	4.2	276	0.6
2024年4月期中間期	6,020	18.0	427	144.0	449	131.1	274	138.9

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期中間期	34.24	
2024年4月期中間期	34.02	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期中間期	8,735	6,808	77.9
2024年4月期	8,720	6,616	75.9

(参考)自己資本 2025年4月期中間期 6,808百万円 2024年4月期 6,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期		9.00		10.00	19.00
2025年4月期		10.00			
2025年4月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年4月期の業績予想(2024年5月1日～2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	3.4	950	4.7	1,000	4.7	650	7.7	80.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年4月期中間期	8,186,400 株	2024年4月期	8,186,400 株
期末自己株式数	2025年4月期中間期	116,851 株	2024年4月期	116,851 株
期中平均株式数(中間期)	2025年4月期中間期	8,069,549 株	2024年4月期中間期	8,069,564 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間損益計算書に関する注記)	8
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間の業績は、売上高62億85百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は4億61百万円（前年同期比7.9%増）、経常利益は4億68百万円（前年同期比4.2%増）、中間純利益につきましては2億76百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

創業から50周年を迎えた当期は次の50年に向けた第一歩として社内の環境整備および制度改定を実施しております。本社ビル内に新たに研修専用施設を設け、店内での一連の作業や基本的接客技術の習得、食に関する知識や衛生管理知識習得など、さまざまな研修をスタートしております。新たに入社した社員・アルバイト全員が研修を受けるプログラムとなっており、外食産業に関わる人材としての高質なサービス提供と基準向上につなげてまいります。また働きやすい環境づくりとして、福利厚生制度を刷新し家族手当増額や対象者の拡充、奨学金返済支援制度の設置に加え時間外労働の削減など、ワークライフバランスに重点を置いた施策を進めております。

出店、退店については、2024年5月に新規オープンした椿屋珈琲吉祥寺茶寮、7月に増床オープンした椿屋カフェ柏高島屋店は客数・売上ともに順調に推移しております。コロナ禍の物販事業開発で貢献のあったケーキ物販専門店は、イートイン需要の高まりと経営資源の有効活用の観点から、より収益化と労働環境に対応する形で当期は3店舗退店いたしました。

10月1日、椿屋珈琲のブランド発信施設として、椿屋珈琲焙煎所&cafeを新規オープンいたしました。（東京都江東区猿江：都営新宿線住吉駅 徒歩3分）スペシャルティコーヒー焙煎施設にて、コーヒーの専門技能国際資格「Qグレーダー」を所持者とジャパンサイフオニストチャンピオンシップ決勝進出者により、日々こだわりの焙煎を行っております。イートインスペースでは、コーヒーやスイーツもお楽しみいただけるほか、焙煎所限定商品や産地での直接買い付け品の販売も行っております。

10月10日に開催されたジャパンサイフオニストチャンピオンシップの国内決勝大会では2名が入賞を果たしました。昨年優勝の塚本サイフオニストは世界大会出場が決まっており、台湾講演やコロンビア視察、買い付けなど、椿屋ブランド力向上に努めております。

業界をとりまく環境では様々なコストアップに対応せざるを得ない厳しい状況ではありますが、出来る限り企業努力で対応できるようにオペレーションの改善や商品・サービスの価値向上に努めてまいります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて1億11百万円減少し、47億81百万円となりました。これは、現金及び預金が63百万円減少したことなどによります。固定資産は、前事業年度末に比べて1億25百万円増加し、39億54百万円となりました。これは、建物が1億31百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて14百万円増加し、87億35百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて1億64百万円減少し、12億11百万円となりました。これは、未払賞与が1億6百万円減少、未払法人税等が95百万円減少したことなどによります。固定負債は、前事業年度末に比べて12百万円減少し、7億15百万円となりました。この結果、負債合計は、19億27百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億91百万円増加し、68億8百万円となりました。これは、利益剰余金が1億95百万円増加したことなどによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月30日に公表いたしました2025年4月期の業績予想から変更しておりますので、「2025年4月期業績予想、剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。なお、業績予想につきましては、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当中間会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,017,113	3,953,421
売掛金	212,630	209,836
SC預け金	286,812	291,213
商品及び製品	42,796	48,153
原材料及び貯蔵品	145,229	142,666
前払費用	112,213	118,959
その他	76,159	17,581
貸倒引当金	△546	△458
流動資産合計	4,892,409	4,781,375
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	678,348	809,933
機械及び装置（純額）	81,189	69,038
工具、器具及び備品（純額）	228,569	244,618
土地	530,000	530,000
リース資産（純額）	16,329	14,001
建設仮勘定	1,070	—
有形固定資産合計	1,535,505	1,667,591
無形固定資産	43,246	40,769
投資その他の資産		
投資有価証券	67,639	62,073
出資金	320	330
従業員に対する長期貸付金	555	425
長期前払費用	13,057	10,216
繰延税金資産	321,046	323,131
差入保証金	404,508	404,508
敷金	1,442,675	1,445,114
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,249,801	2,245,799
固定資産合計	3,828,553	3,954,160
資産合計	8,720,963	8,735,535

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当中間会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	270,927	265,101
リース債務	4,934	4,373
未払金	484,283	447,299
未払賞与	106,101	—
未払費用	76,416	89,721
未払法人税等	264,727	169,378
未払消費税等	150,034	81,608
契約負債	2,555	5,219
預り金	10,256	10,348
前受収益	2,964	3,120
資産除去債務	672	—
賞与引当金	—	132,000
ポイント引当金	1,940	3,035
その他	235	70
流動負債合計	1,376,050	1,211,276
固定負債		
リース債務	13,249	11,249
退職給付引当金	401,504	388,304
資産除去債務	292,513	295,392
その他	20,984	20,984
固定負債合計	728,252	715,931
負債合計	2,104,302	1,927,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,306,350	1,306,350
利益剰余金	5,331,706	5,527,314
自己株式	△100,735	△100,735
株主資本合計	6,587,320	6,782,928
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,340	25,398
評価・換算差額等合計	29,340	25,398
純資産合計	6,616,660	6,808,327
負債純資産合計	8,720,963	8,735,535

(2) 中間損益計算書
(中間会計期間)

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
売上高	6,020,188	6,285,529
売上原価	1,637,776	1,691,374
売上総利益	4,382,412	4,594,154
販売費及び一般管理費	3,955,065	4,132,960
営業利益	427,346	461,194
営業外収益		
受取利息	134	264
受取配当金	484	1,186
受取家賃	16,058	16,673
助成金等収入	5,126	1,950
その他	3,027	3,178
営業外収益合計	24,831	23,253
営業外費用		
支払利息	635	-
不動産賃貸原価	1,321	1,315
助成金返還損	-	14,114
その他	308	70
営業外費用合計	2,265	15,499
経常利益	449,913	468,948
特別損失		
固定資産除却損	690	2,593
減損損失	7,337	17,774
その他	-	3,680
特別損失合計	8,027	24,048
税引前中間純利益	441,885	444,900
法人税等	167,358	168,597
中間純利益	274,527	276,303

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	441,885	444,900
減価償却費	165,453	159,330
減損損失	7,337	17,774
助成金等収入	△5,126	△1,950
助成金返還損	—	14,114
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,834	△13,200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△114	△88
賞与引当金の増減額(△は減少)	108,000	132,000
受取利息及び受取配当金	△619	△1,451
支払利息	635	—
固定資産除却損	690	2,593
売上債権の増減額(△は増加)	25,802	△1,607
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,062	△2,794
前払費用の増減額(△は増加)	8,599	△6,746
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,474	6,088
長期前払費用の増減額(△は増加)	2,450	2,591
仕入債務の増減額(△は減少)	18,680	△5,826
未払金の増減額(△は減少)	△30,952	△35,758
未払賞与の増減額(△は減少)	△97,237	△106,101
未払費用の増減額(△は減少)	△5,495	13,304
未払消費税等の増減額(△は減少)	△130,025	△68,426
預り金の増減額(△は減少)	△17,975	91
その他	1,557	3,739
小計	503,917	552,579
利息及び配当金の受取額	615	1,316
利息の支払額	△633	—
法人税等の支払額	64,186	△263,945
助成金の受取額	2,401	3,858
助成金の返還額	—	△14,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	570,487	279,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,200,000	2,200,000
定期預金の預入による支出	△2,700,000	△2,200,000
有形固定資産の取得による支出	△207,955	△303,721
有形固定資産の除却による支出	△46	△1,540
無形固定資産の取得による支出	△8,540	△2,580
敷金の差入による支出	△19,259	△3,949
敷金の回収による収入	2,076	51,995
その他	230	△333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△733,494	△260,129

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,071	△2,560
自己株式の取得による支出	△92	—
配当金の支払額	△48,417	△80,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,582	△83,256
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△212,589	△63,691
現金及び現金同等物の期首残高	1,621,193	1,817,113
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,408,603	1,753,421

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
給与手当	1,475,979千円	1,557,222千円
賞与引当金繰入額	100,170千円	123,630千円
退職給付費用	20,995千円	15,374千円
減価償却費	143,464千円	132,044千円
支払家賃	780,035千円	808,614千円

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
現金及び預金勘定	4,108,603千円	3,953,421千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△2,700,000千円	△2,200,000千円
現金及び現金同等物	1,408,603千円	1,753,421千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2023年5月1日 至 2023年10月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2024年5月1日 至 2024年10月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。